

第2次光市環境基本計画の取組状況について (令和元年度)

令和2年10月
光市環境政策課

目 次

●みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト		1
●みんなで創る エコまち推進プロジェクト		3
●みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト		6
●みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト		12
●みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト		15

※今回の報告から、各プロジェクトの数値目標における令和4年度目標値に対しての
令和元年度実績値を評価する指標を、総合計画に合わせ、達成率から進捗率に変更
しています。

進捗率＝(近況値－策定時数値)／(目標値－策定時数値)

※達成率＝近況値／目標値

1 みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例 公共施設におけるLED照明導入の推進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施計画
明るく環境にやさしいLED照明の導入を推進するため、公共施設においても積極的な導入に取り組む。	・文化センター展示室の照明をLED照明に更新した。 ・大蔵池公園内の街路灯について、修繕の際、水銀ランプをLED照明に取り替えた。 ●LED照明:1基 ・本庁舎における蛍光灯を用いた照明器具について、安定器の交換が必要なものは、部品交換ではなくLED照明器具への交換を行った。	・学校施設について、LED照明への更新を行う。 ●小学校:7校 ●中学校:3校 ・体育施設の高所照明について、LED照明への更新を行う。 ●光市勤労者体育センター ●サン・アビリティーズ光 ●光市スポーツ館 ・光スポーツ公園内駐車場等の水銀灯をLED照明に取り替える。 ●LED照明:10基 ・テクノキャンパス研修センター体育室(アリーナ)の水銀灯を用いた照明器具について、LED照明への更新を行う。 ・教育委員会庁舎について、LED照明への更新を行う。 ・公共施設における照明器具の不具合が生じた際には、今後も引き続き、財政的観点に加え、照度の向上や省エネの観点も踏まえ、LED照明への交換を行う。
担当課 環境政策課 総務課 関係各課		
施策や事業の展開例 LED照明の導入促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施計画
地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅にLED照明の導入促進を図る。	・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行った。 ●補助件数:97件	・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行う。 ※LED照明の補助率について、1/2から2/3へ拡充。
担当課 環境政策課		

施策や事業の展開例		街路灯・防犯灯のLED化の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施計画
街路灯や防犯灯について、LED照明への交換を推進する。		- 防犯灯について5,095灯全てがLED照明となっている。 696灯の街路灯について、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新した。 《令和2年3月末時点の設置数》 ●LED照明:8灯	- 引き続き、LED防犯灯の新規設置推進を図る。 - 引き続き、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新する。
担当課			
生活安全課			
施策や事業の展開例		LEDの活用による「光」の名の発信の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施計画
「光」の名を有するまちとして、LEDを活用した知名度の向上を推進する。		LEDを活用した、光の名を発信する取り組みについて検討した。	LEDを活用した、光の名を発信する取り組みを検討する。
担当課			
関係各課			

●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①LED照明を導入している公共施設数	3件	6件	10件	42.9%
②街路灯のLED化率	0.5%	1.1%	3.0%	24.0%
③家庭でLED照明を導入している人の割合	59.1%	—	85.0%	—

2 みんなで創る エコまち推進プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例 省エネルギー製品の導入促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅に省エネ設備の導入促進を図る。	- 省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(蓄電池、エネファーム、二重サッシ等)の導入に対し補助を行った。 ●補助件数:66件	省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(太陽熱利用システム、複層ガラス・二重サッシ)の導入に対し補助を行う。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例 次世代自動車の導入及び普及促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
公用自動車への次世代自動車の導入を推進するとともに、普及促進を図る。	農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行った。	農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行う。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例 公共交通機関の利用促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
交通事業者等との連携により公共交通機関の利用促進を図る。	「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進した。 - 県下一斉ノーマイカーデーに協力した。 6月以降、毎月月末金曜日(プレミアムフライデー)に「ecomaruパス」の利用により、市内の停留所で乗降するバス運賃が半額になる取組みを実施した。	「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進する。 - 県下一斉ノーマイカーデーに協力する。 - 毎月月末金曜日(プレミアムフライデー)に「ecomaruパス」の利用により、市内の停留所で乗降するバス運賃が半額になる取組みを実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月より休止している。 - 全国で相互利用できる交通系ICカードの導入による簡便な決済などによる利用促進を図る。
担当課		
商工観光課		

施策や事業の展開例 市域全体での省エネルギー運動の促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進する。	- 市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、6月以降、バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日（プレミアムフライデー）に実施した。 ●ecomaruバス利用実績：2,000枚 - 家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」について、冬季だけでなく、夏季も加えて2回実施した。 ●参加世帯数：夏季97世帯 冬季64世帯 12月第3日曜日を市域全体で省エネ活動に取り組むエコマルチャレンジデーとし、啓発に努めた。	- 市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日（プレミアムフライデー）に実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月より休止している。 - 家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」を夏季、冬季の2回実施する。 - 市域全体で省エネ活動に取り組むエコマルチャレンジデー（12月第3日曜日）に、ウォークラリーや体験型イベントを通じて地球温暖化防止についての認識を深めてもらう「LET'S!エコマルチャレンジキャンペーン」を実施し、一層の啓発に努める。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例 地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
地球温暖化防止に資するため、関係機関と連携し、イベント等の活用による情報発信及び啓発活動の充実を図る。	- 環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を実施した。 ●講演会（7月13日）：29人 ●見学会（11月28日）：17人	- 環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を実施するとともに、山口県地球温暖化防止センターと連携し、啓発活動を行う。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「エコスタイルセミナー」については、開催中止となった。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例 燃料電池自動車の導入		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
地球温暖化防止対策の一環として、水素を活用した燃料電池自動車の公用自動車としての導入を検討する。	導入の可否について判断するための情報収集を行った。	導入の可否について判断するための情報収集を行う。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例 太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進		
概要	令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
公共施設へ太陽光発電システムを導入するとともに、家庭での自然エネルギーの利用促進を図る。	公共施設への設置に対する補助制度等の情報収集を行った。	公共施設への設置に対する補助制度等の情報収集を行う。
担当課		
環境政策課		

施策や事業の展開例		市の率先行動計画（エコオフィスプラン）の推進	
概要	本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制の取組みを推進するとともに、職員の環境意識の向上を図る。	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
担当課		●本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で4%削減するという目標に対して、3.9%の削減となった。 ●平成26年度（基準年度） 13,204,263kg-CO₂ ●令和元年度 12,692,339kg-CO₂	●本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で5%削減する目標に向けて取り組む。
環境政策課			
施策や事業の展開例		地球温暖化対策地域協議会の活動支援	
概要	環境意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制のため、各主体が属する本協議会の活動を支援する。	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
担当課		●「エコスタイルセミナー」や「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」、「省エネ活動キャンペーン」といった、地球温暖化防止に資する事業に対し、市として共催し支援した。	●地球温暖化対策地域協議会が実施する各種事業に、市として共催し、地球温暖化防止につなげる。
環境政策課			

●数值目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①市域全体からの温室効果ガス排出量(全部門)	2,038 千t-CO ₂ (H26)	2,573 千t-CO ₂ (H29)	1,862 千t-CO ₂	△ 304.0%
②市域全体からの温室効果ガス排出量(民生部門)	209 千t-CO ₂ (H26)	186 千t-CO ₂ (H29)	181 千t-CO ₂	82.1%
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135 t-CO ₂ (H28)	12,692 t-CO ₂	12,279 t-CO ₂	51.8%
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12件	14件	14件	100.0%
⑤路線バスの年間利用者数	598,194人 (H28)	578,318人	707,000人	△ 18.3%
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8%	81.2%	95.0%	△ 23.2%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8%	—	70.0%	—
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4%	—	45.0%	—

原則として、策定時の数値は平成29年度、近況値の数値は令和元年度としているが、把握が困難なものについては、()内に記載する年度の数値を掲げている。

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)
太陽光など自然エネルギーの活用に関心がある人の割合	63.8%	62.8%

3 みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例「自然敬愛都市宣言」のまちの周知		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
市民の自然敬愛意識を醸成し、自然環境の保全活動を促進するため、「自然敬愛都市宣言のまち」であることの周知を図る。	・日本の森・滝・渚全国協議会及び市が主催する「全国自然敬愛サミット2019」において、参加者に対して自然敬愛の精神の理解を深めてもらうとともに、自然敬愛都市宣言のまちであることの周知を図った。 ●参加人数:約300人	・様々な機会を通じて「自然敬愛都市宣言のまち」のPRに努めるとともに、新たな周知方法の検討を進める。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例クリーン光大作戦の推進		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
自然敬愛への自覚と意識の向上及び青少年の社会参加活動を促進するため、年1回の市域全体での清掃活動を実施する。	・第46回クリーン光大作戦を7月14日に実施した。 ●参加人数:14,345人	・第47回クリーン光大作戦を7月12日に実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、浅江地区が中止となった。
担当課		
文化・社会教育課		
施策や事業の展開例アダプト・プログラムの推進		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムを推進する。	・事業実施団体(19団体)に対し、ゴミ袋などの支給や、市民活動補償制度の適用などにより、活動を支援した。	・事業実施団体に対して各種支援を継続するとともに、市HP等による事業PRを行う。
担当課		
地域づくり推進課		
施策や事業の展開例自然環境や景観と調和した光漁港海岸(室積海岸)の保全対策の推進		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
台風等により浸食された海岸の保全対策や高潮対策を推進する。	・室積海岸浸食における高潮対策として、高潮堤防工事を実施した。また、工事予定箇所の用地の取得、建物の補償を行った。	・室積海岸侵食の動向を確認するため、昨年、発生した台風10号の影響について現地を測量調査し、シミュレーション結果との整合性について確認を行う。また、高潮対策の高潮堤防工事を行う。 ・補償対象となっている前松原、中松原、後松原の自治会館について、関係者と協議を進め、建物及び用地補償に向けた事前準備に取り組む。
担当課		
農林水産課		

施策や事業の展開例		海岸松林の保全	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
	本市の貴重な自然環境を良好な状態で次世代へ継承するため、松の植栽や維持管理を市民等との協働で行うなど、保全活動の推進を図る。	・室積・虹ヶ浜海岸松林において市民ボランティア等による黒松植栽及び松林の保全管理を実施した。 ●黒松植栽本数:193本 (全体本数42,306本、令和2年3月31日現在)	・室積・虹ヶ浜海岸松林において市民ボランティア等による黒松植栽及び松林の保全管理を実施する。 ●黒松植栽本数:100本 (黒松3～4年生)
担当課			
	農林水産課		

施策や事業の展開例		市民参加による緑化活動の推進	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
	市民の自主活動による花や緑の保全活動を推進する。	・市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図った。 ●花壇コンクール参加団体:62団体 ●誕生記念植樹:メインツリー(ウメ)2本 ●ガザニアクイーンの植栽	・市民参加による緑化活動を推進するため、花壇コンクールや誕生記念植樹を開催し、公園や花壇、公共施設などの緑化を図る。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、花壇コンクールは開催中止となった。
担当課			
	都市政策課 関係各課		

施策や事業の展開例		どんぐりの森の整備	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
	「どんぐり・まつぼっくり教室」の開催により、自然と身近にふれあい学ぶ場の提供や啓発活動を推進し、自然敬愛精神の醸成を図る。	・森林に関する学習及びどんぐりの森で苗の植栽を体験する「どんぐり・まつぼっくり教室」を開催し、自然の大切さについての啓発を行った。 ●植栽数:25本(クヌギ苗木) ●参加者:40人(13家族) ※「どんぐり・まつぼっくり教室」は、令和元年度で事業を終了した。	
担当課			
	農林水産課		

施策や事業の展開例		市民の森自然観察林の整備	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
	身近な森林として市民に親しまれ利用される市民の森自然観察林の整備により、森林の整備と保全の重要性の理解や意識の高揚を図る。	・保健保安林としての機能を有しており、市民が森林浴やレクリエーション等の憩いの場として利用できるよう、市民の森9箇所の下刈りや樹木の剪定等の維持管理を実施した。 ●下刈:7.37ha ●剪定:1,180㎡	・市民の森9箇所の下刈りや樹木の剪定等の維持管理を実施する。 ●下刈:7.37ha ●剪定:1,180㎡
担当課			
	農林水産課		

施策や事業の展開例 自然環境を活かした防災機能の向上		
概要 市民生活の安全、安心の向上に資する森林の持つ多面的機能を活用するため、海岸松林や森林の適正な整備を実施する。	令和元年度の実施状況 ・森林経営計画に室積・光井・島田・立野・小周防の光(中)団地について約2.05ha、室積村の光(東)団地について約1.14haの森林を追加した。また、大和団地の1,349.43haの森林について新たに5ヶ年の経営計画を策定した。	令和2年度の実施計画 ・光(中)団地、光(東)団地について新たに5ヶ年の経営計画を策定する。
担当課 農林水産課		
施策や事業の展開例 公園・緑地の適正な配置・保全		
概要 緑豊かなまちづくりを進めるため、「光市都市計画マスタープラン」や「光市緑の基本計画」に基づき、公園や緑地の適正な配置・保全を推進する。	令和元年度の実施状況 ・花と緑の安らぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行った。また街区公園等において、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに遊具の安全点検や施設の修繕などを行った。 ●近隣公園：1箇所 ●街区公園：29箇所	令和2年度の実施計画 ・花と緑の安らぎあるまちづくりを推進するため、植樹帯の除草や街路樹の刈込み、剪定や伐採、消毒などを行う。また街区公園等において、樹木の刈込み、剪定、伐採、除草、トイレ清掃等を行うとともに遊具の安全点検や施設の修繕などを行う。 ●近隣公園：1箇所 ●街区公園：29箇所
担当課 都市政策課		
施策や事業の展開例 自然に配慮した河川整備		
概要 自然と人とのふれあいの場の確保や自然に対する保全意識の高揚を図る。	令和元年度の実施状況 ・災害防止を目的として島田川の河川改修事業を進めた。(県事業)	令和2年度の実施計画 ・引き続き、島田川の河川改修事業を進める。(県事業)
担当課 道路河川課		
施策や事業の展開例 公共下水道や浄化槽の整備		
概要 市内の下水道認可区域における下水道未整備地区について、効率的かつ効果的に下水道を整備するとともに、下水道整備が困難な区域の合併浄化槽の設置を促進する。	令和元年度の実施状況 ・室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図り、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図った。 ●令和元年度末処理区域面積：981ha(前年度末979ha) ●令和元年度末普及率：81.1%(前年度末80.9%) ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、合併処理浄化槽設置に対する助成を行った。 ●下水道認可区域外：14基 ●下水道認可区域内：3基	令和2年度の実施計画 ・引き続き、室積地区を中心に公共下水道の整備促進を図る。 ●整備予定処理区域面積：2.7ha ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、引き続き、合併処理浄化槽設置に対する助成を行う。
担当課 下水道課		

施策や事業の展開例		安全でおいしい水の安定的供給	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
水質の維持管理に努め、安全でおいしい水の安定的な供給に努める。		- 安定した水道水供給のため、老朽管の布設替え及び耐震化を進めた。 ●布設替え：4.8km ●耐震管率：37.9%（H30は36.3%） - 水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を観音寺配水池系統（岩狩・小周防・東荷方面）で実施した。	- 引き続き、老朽管の布設替え及び耐震化を進める。 - 水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を大和配水池系統（塩田・三輪・岩田地区）で実施する。
担当課			
水道局			
施策や事業の展開例		鳥獣被害防止対策の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
イノシシやサル等の有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等の被害防止対策を推進する。		- 有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策の補助を行った。 ●捕獲頭数：イノシシ193頭、サル3頭 ●補助件数：71件	有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策補助の推進を図る。
担当課			
農林水産課			
施策や事業の展開例		公害防止対策の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進する。		大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底した。	大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底する。
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		公共事業における環境配慮の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
公共事業発注の際は、環境破壊や環境汚染の引き起こすことのないよう注意喚起を促す。		入札時に配布する資料の中に、施工にあたっては、排出ガス対策型建設機械を使用することを明記した。	引き続き、入札時の配布資料の中に、排出ガス対策型建設機器を使用することを明記する。
担当課			
入札監理課			

施策や事業の展開例		文化・歴史的資源の保存・活用	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
良好な景観と市民の潤いある住環境を整備するため、文化や歴史的資源の保存・活用を推進する。		・史跡石城山神籠石のボランティア清掃活動を支援し、環境の美化に努めた。 ・クサフグの産卵場所の清掃並びに産卵状況の監視及び見学者の観察マナーの指導を行い、産卵場の保護活動に取り組んだ。 ・牛島のヒトツバハギの保護に努めた。 ・伊藤公資料館のシアターホール映像を更新するため、リニューアル事業(2か年計画の1年目)に取り組んだ。	・文化財や歴史的資源の保存、活用を推進していくため、前年度と同様、各種支援、助成、維持管理、指導等を行う。 ・伊藤公資料館のシアターホール映像を更新するため、リニューアル事業(2か年計画の2年目)に取り組む。
担当課		・老朽化した説明看板を2箇所更新し、現地見学の向上を図った。	
	文化・社会教育課		
施策や事業の展開例		自然環境を活かしたスポーツ活動の推進	
概要		令和元年度の実施状況	令和2年度の実施状況
自然環境を有効に活用し、市民のスポーツやレクリエーション活動を推進する。		・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催した。ランニング後には、参加者等の協力による海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施した。 ●「2019 ビーチランHikari」 参加者:180人 ・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催した。 ●「第20回梅まつりコバルトウォーク」 参加者:432人	・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催する。ランニング後には、参加者等の協力による海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施する。 ●「2020 ビーチランHikari」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。 ・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催する。 ●「第21回梅まつりコバルトウォーク」
担当課			
	体育課		

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869人	14,345人	17,000人	△ 134.7%
②アダプト・プログラムの参加団体数	16団体 (H28)	19団体	20団体	75.0%
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347本 (H28)	42,306本	42,000本 以上	111.8%
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7%	—	35.0%	—
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0%	—	90.0%	—
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8%	—	85.0%	—
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1%	—	85.0%	—
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9%	—	85.0%	—
⑨生活環境の快適さ(騒音や悪臭がないこと)に関する満足度	71.6%	—	80.0%	—

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)
自然保護や環境保全活動に参加している人の割合	10.7%	8.2%
山・川・海などの自然環境保全に対する満足度	41.1%	39.8%

4 みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例「もったいない」文化の醸成		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
「もったいない」の精神文化を踏まえた市民の環境意識の醸成を図る。	・「ひかりエコフェスタ2019」でマイバッグを配布しながら、使い捨て商品の削減についての啓発を行った。	・「ひかりふるさとまつり」でマイバッグを配布し、使い捨て商品の削減についての啓発を行う。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ひかりふるさとまつり」は開催中止となった。
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例不用品交換システムの充実		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
市民の不用品情報やフリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図る。	・ごみの抑制や再利用を促進するための不用品交換システム、リユースネット(キッズ)ひかりを実施するとともに、市ホームページでフリーマーケット情報の提供を行った。 《リユースネットひかり》 ●譲ります:登録55件、成立16件 ●譲ってください:登録55件、成立20件 《リユースキッズひかり》 ●登録162件、成立131件	・家庭での遊休品や不用品の有効活用を促進するため、「リユースネット(キッズ)ひかり」及びフリーマーケットの開催情報の提供を行う「フリマネットひかり」を継続して実施する。
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
幼稚園や保育園、小中学校での環境学習を継続するとともに、エコショップ認定店での店頭回収品目追加など、制度の充実を図る。	・ごみに関する現状を周知するとともに、減量や再利用等について啓発するため、世代に応じた環境学習や出前講座を実施した。 ●幼保園児:1幼稚園、6保育園(園児244人、保護者92人) ●小学児童:12小学校(449人) ●中学生徒:5中学校(9回、1,267人) ●一般:16回(474人) ●エコショップ認定店:11店舗	・小学4年生や保育園児、幼稚園児を対象として、ごみの分別体験やじん芥車を活用したごみの積み込み体験などの体験型環境学習を実施するとともに、中学生に向けた環境学習については、各校の状況に応じた内容の充実を図りながら、継続して実施する。
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例 雑がみ再資源化の推進		
概要 オフィスリサイクルを促進するため、各種会議やイベントで雑がみリサイクルについての周知・啓発を図る。	令和元年度の実施状況 ・再生可能な雑がみの回収に努めた。 ●公共施設からの回収量：7,161kg ●市内資源回収団体回収量：15,182kg	令和2年度の実施計画 ・公共施設から排出されるメモ紙やプリント等の再生可能な雑がみの再資源化を促進するとともに、市域での回収量の増加につながるよう周知、啓発に取り組む。
担当課 環境事業課		
施策や事業の展開例 生ごみリサイクルの推進		
概要 生ごみ処理機や段ボールコンポストを活用した生ごみリサイクルの取組を推進するとともに、家庭で簡単にできる生ごみのリサイクルについても周知する。	令和元年度の実施状況 ・生ごみ減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して、助成を行った。 ●電動生ごみ処理機：6件 ●コンポスト容器：10件 ●段ボールコンポスト：4件	令和2年度の実施計画 ・生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して助成を行うとともに、ごみ減量等推進委員会や出前講座で生ごみリサイクルについて周知を図る。
担当課 環境事業課		
施策や事業の展開例 ごみ処理の有料化制度の実施		
概要 共同でごみ処理施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市町の現状を踏まえ、実施に向けた検討を行う。	令和元年度の実施状況 ・消費税の税率変更に伴い、協議・検討を行ったが、周南市、下松市とも有料化をしない方針であったため、同一の方針とした。	令和2年度の実施計画 ・ごみ処理は一部事務組合方式で行っていることから、有料化については構成市（光市、周南市、下松市）で協議・検討を行う。
担当課 環境事業課		
施策や事業の展開例 市民ニーズに対応した収集サービスの実施		
概要 必要に応じたごみ分別アプリの品目追加を行うとともに、粗大ごみ等の出張収集サービスを実施する。	令和元年度の実施状況 ・正しいごみ分別の徹底を図るため、ごみ分別アプリの周知を行った。 ●アプリのダウンロード数：6,382件（前年比1,742件増） ・ごみ置場への搬出や分解が困難な粗大ごみを個別に収集する「ふれあい訪問収集」を実施した。 ●ふれあい訪問収集：631世帯、1,847件	令和2年度の実施計画 ・市民に対してごみ分別アプリの周知を行うとともに、随時、問合せの多い品目を追加し、より便利なアプリとなるようバージョンアップをする。 ・ふれあい訪問収集については、ごみ置場への排出や分解が困難なことから、粗大ごみを個別に収集する必要があり、継続して実施する。
担当課 環境事業課		

施策や事業の展開例		えこぱーくを拠点とした再資源化の推進	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
ごみ処理施設の見学機会の拡充や各種団体に対するごみ分別の出前講座を実施することにより、市民の正しいごみ分別の徹底を図る。		・ごみ処理について、見学や体験を通して周知し、今後の正しいごみ分別につなげるため、えこぱーくの施設見学を行った。 ●施設見学件数:8団体	・えこぱーくに搬入されたごみがどのように処理されているかを学び、また、自らごみの分別体験を行うことで、ごみに対する関心や意識の向上が図られることから継続して実施する。
担当課			
環境事業課			

施策や事業の展開例		環境保全型農業の推進	
概要		令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
環境への負荷軽減を図り、品質と付加価値が高い農産物の生産を推進する。		・市内の農業者に対して、エコファーマー認定制度を紹介するなど、付加価値の高い農産物の生産を推進した。 ●令和元年度末認定数:10件	・引き続き、エコファーマー認定制度の周知を図り、品質と付加価値の高い農産物の生産を推進する。
担当課			
農林水産課			

●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①1人1日あたりのごみの排出量	975g (H27)	958g	910g以下 (R3)	26.2%
②リサイクル率	28.5% (H27)	28.0%	31.5%以上 (R3)	△ 16.7%
③ごみの最終処分量	1,320t (H27)	1,076t	1,250t以下 (R3)	348.6%
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2%	—	85.0%	—
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2%	—	60.0%	—
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0%	—	85.0%	—
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6%	—	90.0%	—

●参考値

項目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)
資源のリサイクル対策の充実に対する満足度	53.6%	47.9%
ごみの分別をきちんと行っている人の割合	94.7%	95.0%

5 みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例「ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
次代を担う子どもたちの自然を敬愛する心を育むとともに、様々な環境問題について認識を深めるため、「ひかりエコくらぶ」を創設し、活動を推進する。	・市内の小学1～3年生を対象とした「ひかりエコくらぶ」に、応募者から抽選で選出した25人を隊員に任命し、市内のフィールドを活用した自然体験学習会を実施した。 ●1回目(11月17日) 周防の森ロッジ周辺で、散策や木の実を使った工作等 参加者数(付添含):48人 ●2回目(2月15日) 周防の森ロッジ周辺で、ネイチャーゲームや石窯ピザづくり等 参加者数(付添含):27人	・新たな隊員を募集し、市内のフィールドを活用した自然体験学習会を実施する。 なお、応募者多数の場合は、安全性を最優先に可能な限りの受け入れを行う。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。
担当課		
環境政策課		
施策や事業の展開例環境関連講座、講演会等の実施		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
市民の環境意識の醸成を図るため、講座や講演会等を実施する。	・地球温暖化防止や自然環境保全、ごみの分け方や出し方といった観点からの講座や講演会等を実施した。 ●環境学習:3回(84人) ●エコスタイルセミナー:講演会29人、見学会17人 ●ごみの出し方等に関する出前講座:16団体(474人)	・「エコスタイルセミナー」や「環境講演会」、「出前講座」等を通して、市民の環境意識の醸成を図る。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「エコスタイルセミナー」及び「環境講演会」は開催中止となった。
担当課		
環境政策課 環境事業課 関係各課		
施策や事業の展開例自然体験機会の創出		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
市民の自然敬愛精神醸成のため、自然とふれあう機会を創出し、保全や継承につなげる。	・「ひかりエコくらぶ」の活動を通して、自然と触れ合い、自然に親しみ、自然を守る意識の醸成を図った。	・自然の大切さを学ぶとともに、自然を敬愛する心を育むため、「ひかりエコくらぶ」を実施し、自然体験機会を創出する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ひかりエコくらぶ」は開催中止となった。
担当課		
環境政策課 農林水産課 関係各課		
施策や事業の展開例ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施		
概要	令和元年度の取組状況	令和2年度の取組み
市民を対象に、多様な環境関連施設の見学機会を提供し、資源循環や低炭素等、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを実施する。	・「ごみの行方&エネルギーの始まり」見学ツアーの実施した。 ●実施回数:13回(275人)	・環境問題を複合的な視点から考察するとともに、ごみ問題に対する意識の高揚を図ることを目的として、ごみ処理施設や再生可能エネルギー施設を見学するツアーを継続して実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から休止している。
担当課		
環境事業課 環境政策課		

施策や事業の展開例 小・中学校との連携体制の強化		
概要 環境意識の醸成には、学校教育現場での取り組みも重要であることから、行政と学校の連携体制の構築及び強化を図る。	令和元年度の取組状況 ・市内各小学校に環境学習の実施について働きかけを行い、3校で実施した。 ・市内4校の中学校で、市内外の企業の環境に配慮した取組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」を実施した。 ●実施数:4中学校(348人)	令和2年度の取組み ・市内各小学校に働きかけを行い、地球温暖化や植物、魚類、鳥類についての環境学習を行う。 ・市内中学校を対象に、市内外の企業の環境に配慮した取組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」を実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ひかり環境未来塾」は8月から事業を開始した。
担当課 環境政策課 学校教育課		
施策や事業の展開例 環境教育を担う人材の育成		
概要 市民の環境意識の醸成や向上を図るため、環境問題について学ぶ場を提供し、環境教育を担う人材の育成につなげる。	令和元年度の取組状況 ・出前講座「創りんぐ光」において、環境関連のメニューを用意し、市民の学習機会の創出を図った。	令和2年度の取組み ・出前講座メニューについて、市民ニーズに即した講座メニューに集約、見直しを行い、講座内容の充実を図る。
担当課 環境政策課 地域づくり推進課		
施策や事業の展開例 ”光”版環境学習帳の作成		
概要 光市の自然や多様な環境について学び、継承につなげていくため、環境学習帳を作成する。	令和元年度の取組状況 ・作成に向けた情報収集に努めるとともに、構想を検討した。	令和2年度の取組み ・作成に向け、目的や取り扱う内容、配布対象、配布方法、作成方法等、基本的な指針をまとめる。
担当課 環境政策課		
施策や事業の展開例 地域での環境教育の促進、支援		
概要 地域での特徴ある環境教育につながる取組みを促進するとともに、より効果的なものとなるよう支援する。	令和元年度の取組状況 ・環境保全団体が主催する自然体験学習会に対して後援し、広報に募集記事を掲載するなどの支援を行った。	令和2年度の取組み ・地域や諸団体が行う環境教育に対する支援を行い、自然保護や自然敬愛につながる取組みを促進する。
担当課 環境政策課 関係各課		

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和元年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60回	73回	65回	260.0%
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448人	4,943人	5,000人	89.7%
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1%	—	85.0%	—
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9%	—	25.0%	—